

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	技術・家庭科（技術分野）			学年	第1学年
時間数	35	教科書	技術・家庭 技術分野（開隆堂）		
副教材	技術・家庭ノート 技術分野（正進社）				

学習目標	生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術との関わりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てます。
学習の方法	1 生活をよりよくするための知識を学習するために、技術と社会や環境との関わり、家庭の機能について理解を深めます。 2 生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するために、実践的・体験的な学習活動を行います。 ア 道具や工具、機器を正しく扱い、適切に保守・管理ができるようにします。 イ 安全に製作活動ができるように留意します。 3 互いに協力し合うことの大切さを学ぶために、班活動や男女の協同作業を行います。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、実習作品 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート、実習中の行動観察 【主体的に学習に取り組む姿勢】ノート、授業中の発言、挙手・発表回数表

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1 学期	A 材料と加工に関する技術	○ 技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割について考えます。 ○ 材料の特徴やその利用方法を知ります。 ○ 使用目的や使用条件に即した機能と構造について考え、簡単な製作図を描くことができるようにします。
2 学期	A 材料と加工に関する技術	○ 材料に適した加工法を知り、工具や機械を安全に使用できるようにします。 ○ 部品加工、組立て、仕上げを行います。
3 学期	D 情報に関する技術	○ 情報通信ネットワークにおける基本的な情報利用の仕組みを知ります。 ○ 著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考えます。

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	技術・家庭科（技術分野）			学年	第2学年
時間数	35	教科書	技術・家庭 技術分野（開隆堂）		
副教材	技術・家庭ノート 技術分野（正進社）				

学習目標	生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術との関わりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てます。
学習の方法	1 生活をよりよくするための知識を学習するために、技術と社会や環境との関わり、家庭の機能について理解を深めます。 2 生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するために、実践的・体験的な学習活動を行います。 ア 道具や工具、機器を正しく扱い、適切に保守・管理ができるようにします。 イ 安全に製作活動ができるように留意します。 3 互いに協力し合うことの大切さを学ぶために、班活動や男女の協同作業を行います。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、実習作品 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート、実習中の行動観察 【主体的に学習に取り組む姿勢】ノート、授業中の発言、挙手・発表回数表

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	C 生物育成に関する技術	○ 生物育成に適する条件と育成環境を管理する方法を知ります。 ○ 生物育成に関する新しい技術について知ります。 ○ 栽培記録を取り、植物の管理を適切に行います。
2学期	B エネルギー変換に関する技術	○ 各種エネルギーの変換の仕組みや安全な利用方法について知ります。 ○ 電気機器の基本的な仕組みを知り、保守点検や事故防止ができるようにします。 ○ エネルギーの効率的な伝達方法について知ります。
3学期	B エネルギー変換に関する技術	○ 製作品の組立て・調整や電気回路の配線・点検ができるようにします。

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	技術・家庭科（技術分野）			学年	第3学年
時間数	18	教科書	技術・家庭 技術分野（開隆堂）		
副教材	技術・家庭ノート 技術分野（正進社）				

学習目標	生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術との関わりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てます。
学習の方法	1 生活をよりよくするための知識を学習するために、技術と社会や環境との関わり、家庭の機能について理解を深めます。 2 生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するために、実践的・体験的な学習活動を行います。 ア 道具や工具、機器を正しく扱い、適切に保守・管理ができるようにします。 イ 安全に製作活動ができるように留意します。 3 互いに協力し合うことの大切さを学ぶために、班活動や男女の協同作業を行います。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、実習作品 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート、実習中の行動観察 【主体的に学習に取り組む姿勢】ノート、授業中の発言、挙手・発表回数表

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	D 情報に関する技術	○ コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組みを知ります。 ○ 情報処理の手順やプログラムの働きを学習します。 ○ 情報処理の手順を考え、簡単なプログラムが作成できるようにします。
2学期	D 情報に関する技術	○ 情報処理の手順を考え、簡単なプログラムが作成できるようにします。 ○ 著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考えます。 ○ 多様なソフトウェアやメディアを用いて、身近な課題を解決できるようにします。
3学期	D 情報に関する技術	○ 多様なソフトウェアやメディアを用いて、身近な課題を解決できるようにします。 ○ 技術が私たちの生活で果たしている役割や環境を守る工夫について理解できるようにします。

備考	
----	--